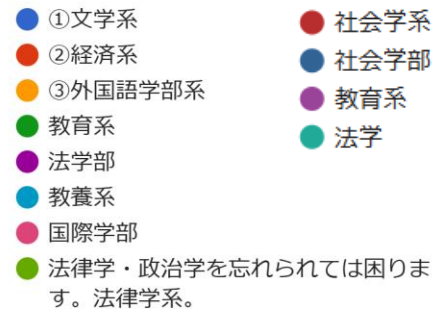
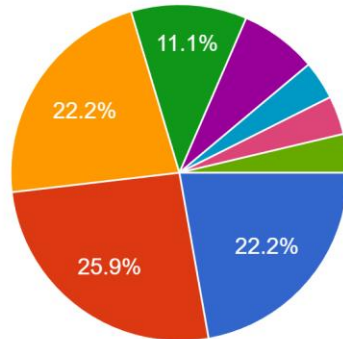


R7 国探台湾研修 アンケート（2年国探）2025.12.1-12.5

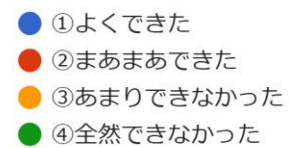
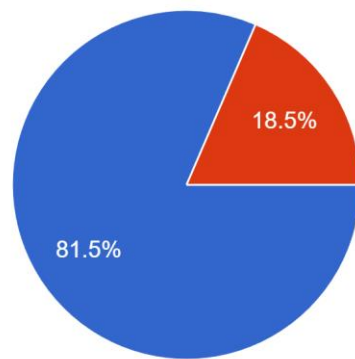
4. あなたの現時点での志望進路を教えてください。

27件の回答



5. 台湾大学での研修について、研修内容はよく理解できましたか。

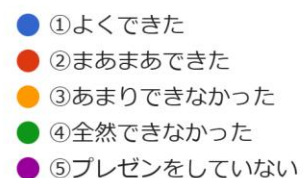
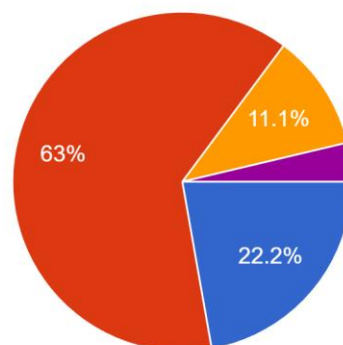
27件の回答



6. 師範大学附属高級中学での研修について

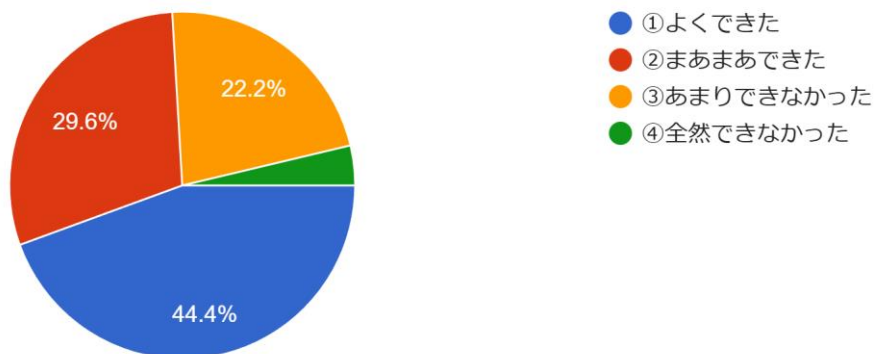
(1) 研究発表のプレゼンテーションはどうでしたか。

27件の回答



(2) 師範大学附属高級中学の生徒とのコミュニケーションはどうでしたか。

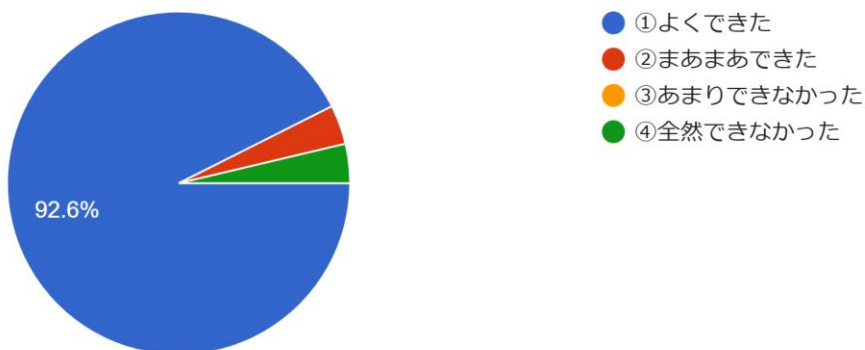
27件の回答



7. グループ別研修について

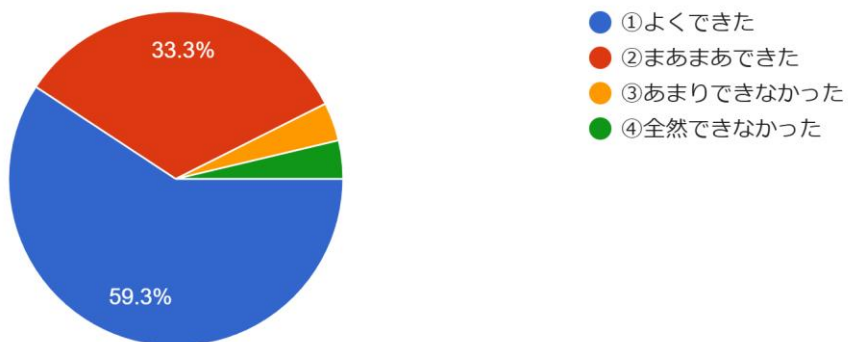
(1) 見学地についてよく理解できましたか

27件の回答



(2) 現地大学生とのコミュニケーションはどうでしたか。

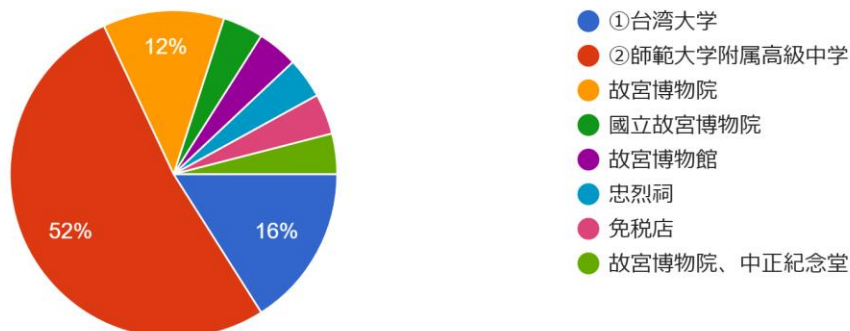
27件の回答



8. 台湾研修全体を振り返って、教えてください。

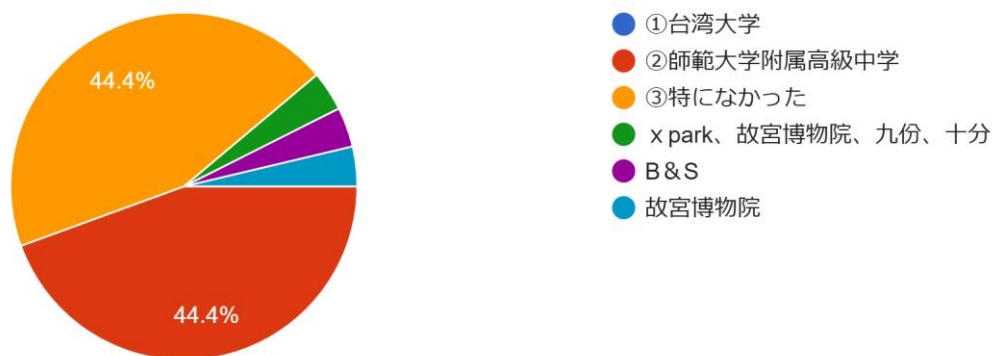
(1) あなたにとって一番勉強になった研修地はどこだと思いますか。

25件の回答



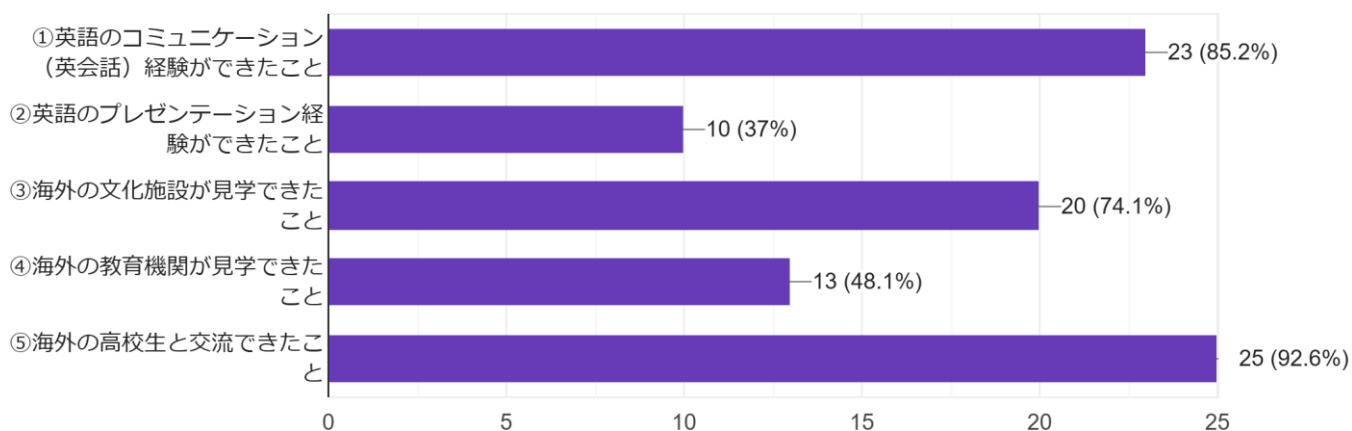
(2) もっと研修に時間を取って欲しかった研修地はありましたか。

27件の回答



(3) 研修で自分にとってためになったと思うことを選んでください。（複数選択可）

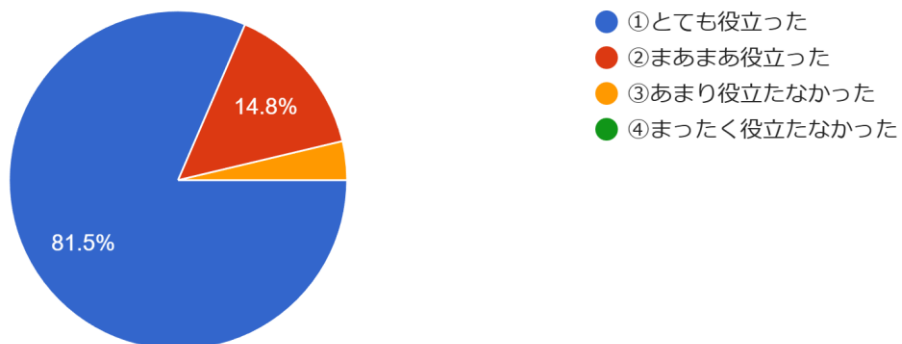
27件の回答



(4)

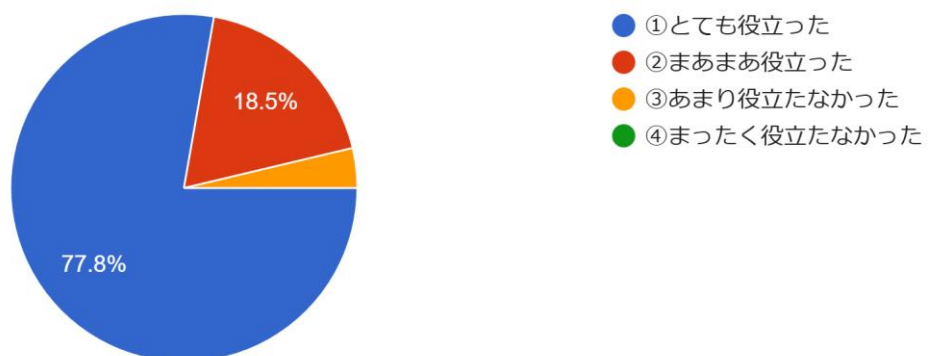
台湾研修（とその準備）は、自身の科学的（人文...含む）な思考力の向上に役立ったと思いますか。

27 件の回答



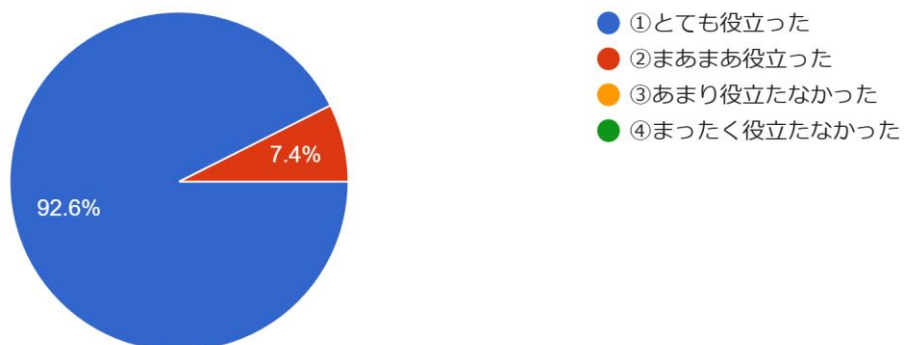
(5) 台湾研修（とその準備）は表現力の向上に役立ったと思いますか。

27 件の回答



(6) 台湾研修は自身にとって幅広いものの見方を学ぶ上で役立ったと思いますか。

27 件の回答



(7) 自身にもっとあればよかったと思うことは何でしたか。(複数選択可)

27件の回答



(8) 普段の教科の授業やLCに望むとすれば、どんなことを望みますか。

27件の回答



(9) 台湾研修旅行に向けて準備してよかったこと(原文ママ)

- ・英語のプレゼンの練習
- ・コミュニティを広げること
- ・事前に台湾の歴史や文化について情報を得たことで、実際に台湾文化に触れた時に、現地の考え方をすんなり受け入れられた。
- ・プレゼンテーションを分かりやすく準備できた
- ・プレゼンテーションの準備
- ・英語でのプレゼンテーションの用意は、外国の人にも伝わるように、山大の留学生の方と話し合いながら内容を推敲できたため、本番でも自信を持ってプレゼンテーションが出来た。
- ・文字の少ない、図表が多いスライドでプレゼンをするための原稿づくり。また、英語のリスニングやスピーキングのスキルの他に、ボディランゲージを使うことの意識。
- ・ホテルについて調べた
- ・プレゼンテーションはしっかり構成整えて準備をしてよかった
- ・SSRの英語のプレゼンの練習

- ・英語でのプレゼンテーションの練習を念入りに行なったおかげで本番でもしっかり発表することができた。
- ・プレゼンテーション原稿、コミュニケーション力。
- ・早めにプレゼンの原稿を英訳しておいたことで、練習することができ、本番にスラスラ読むことができた。
- ・班の人と話し、細かい計画を立てたこと。
- ・英語版の発表のカンペを用意しておいたこと
- ・英語のプレゼンと B&S で訪れる場所を調べておいたこと
- ・分かりやすいプレゼンテーションを準備できたこと
- ・自分の研究を、より詳しく知ってもらうために実践的な内容を取り入れることができた。
- ・台湾でのタブーなことを知ってから行けてよかったです。
- ・台湾にはどういう物があって何が有名なのかななどを事前に調べたこと。また、台湾のルールや中国語を事前に学べたことで、何もわからずに行くよりも充実させれたと感じる。
- ・訪れる施設について基本的な知識を身に着けたこと。
- ・故宮博物館の歴史と有名な展示品について授業で学べたこと。B & S の活動計画を綿密に決めておいたこと。HIS さんから台湾についての事前知識をいただいたこと。
- ・B&S で必ずまわりたいところと時間があればまわりたいところを決めておいたことでスムーズに行動出来た
- ・プレゼン内容や質問を予想して臨めたことは良かった。研修先や博物館の目玉を先に調べておくにより楽しむことができた。
- ・自分が研修を通してどのようなことを学びたいのか、それを達成するために常に心がけるべきことは何か自分でよく考えて整理したこと。
- ・SSR のスライド発表を英語でするのにあたって、原稿作りからスライドづくりに注力して、円滑な発表を心がけたことで、本番も練習通りに発表することができた。
- ・パスポート。風邪を事前にひいておくこと。地政学上重要な台湾海峡の知識

(10) 台湾研修旅行に向けて準備しておけばよかったこと（原文ママ）

- ・初対面の人とのコミュニケーションの練習
- ・チャレンジ精神を養うこと
- ・相手のことをもっと知りたいと思った時や、自分のことをもっと教えたいと思った時に、英語でのコミュニケーション能力やボキャブラリーが足りないと感じることが多く、英語でのコミュニケーションをとる上で必要なフレーズなどをもっと知ってから行けばよかったと思った。
- ・中国語をもう少し勉強すると楽しかったと思う
- ・姉妹校の高校生にもっとお菓子を準備しておけばよかった
- ・師範大学附属高級中学の人々とスムーズに話が出来るように、英語でのコミュニケーションと、言いたいことが英語で言えるようにしておきたかった。
- ・ここぞという時に心身のコンディションを合わせること。また、世界で使われる英語の地域差への対応。
- ・プレゼン発表の分かりやすい原稿作成(スマホのメモだけしかしていなかった)
- ・台湾で有名なものなどをもっと知っているると現地の高校生との会話に役立てられたと思う
- ・英語を聞き取る力、英語脳
- ・もっと自分の英語スキルを高めて臨みたかった。
- ・質問に対して正しく解釈し、答える力。

- ・何個か忘れ物をしたので、メモなどを作って置くと良かった。
- ・予備知識
- ・会話でもっとよく文法を使えるように復習すること、もう少し話せるような話題を作るため少し細かな部分まで事前に調べておくこと
- ・もっと訪れる場所の歴史や日本との関係を調べておくべきだった。現地の方から見れば自分たちは外国人なのだ、という意識をもう少しもっておくべきだった。
- ・英語の語彙をもっと増やしておくこと
- ・もっと発表の練習を行い、わかりやすく伝えなかった。
- ・もっと行く先の建物の知識や文化の知識を蓄えてから行ったらよりおもしろかったと思います。
- ・英語のボキャブラリーやスピーキング力をもっと日頃から身につけておくべきだったなと思った。
- ・附中でのプレゼンテーションの準備（リスニングも含む）、中国語の学習（もう少し語彙があったら台湾の方々にも親近感を持ってコミュニケーションをとってもらえたかと思う）
- ・日常で使う中国語を少しでも知っておくと便利だった。現地の気温にあった服装(半袖も持つて行くとよかったかも?)
- ・府中交流の時に相手とどんなことを話したいかや何を聞きたいかをある程度考えておくべきだった
- ・予想していたとはいえ、自分の研究に関することをもっと英語で説明したり話したりできるようにしておきたかった。台湾の地名や、訪れる場所を発音できるようにしておくともスムーズだった。
- ・SSR の発表のときに、原稿を見て話すのではなく伝えたいことを強調しながら自由に伝えるための練習。
- ・SSR の発表に対して、質問したり質問されたりするために事前に用意していても、英語で質問されると一気に頭が真っ白になってしまったため、どんな言い方であっても自分の担当箇所については自分で英語で返せるように準備をしておくべきだった。また、軽い英会話ができるように自分の趣味や夢についてなど、不確定で曖昧なまま話さないように、ある程度自分の中で答えを持っておくべきだった。
 - ・附中交流に際して、もっといっぱいお土産を準備しておけばよかった。あまりにもたくさんの素晴らしいものをもらった。以下はその内訳である。
 - ・附中のコースター2枚
 - ・附中の鉛筆2本
 - ・台北の観光地が描かれた冷蔵庫に貼るマグネット(めちゃでかい、木製)
 - ・チョコレートパフ
 - ・ストロベリーパフ
 - ・かっぱえびせんのようなもの
 - ・グミ
 - ・ポストカード、直筆の手紙(So heartwarming ですよ)

なんと素晴らしく、心温まることか。紙袋3袋である。班全員分ではない。1人分である。

同時に、我々の持っていったお土産も思い出した。カントリーマアム一袋。(空港で買って、本当は国探男子で食べようと思っていたが、あまりのお土産の多さで贈ることにした)ぷるんと蒟蒻ゼリー。

合計1000円ぐらいか。自分はこれぐらいでちょうどいいだろうと思っていたが、どうやらそれは大きな間違いだったようである。もはやここまで来ると失礼無礼の域に突入してしまったような気がする。恥ずかしさで顔から火が噴き出るようである。日本と台湾の外交問題に発展する前に、来年の探検科諸君には頑張っていたきたい。

(11) その他、自分の将来に活かしたいと思ったこと(原文ママ)

- 日本でも海外でも、どこに行ってもどうにか生きていけるという気持ちを持って頑張ること。広い視野と、世界の情勢に目を向けること。
- 異文化を理解して適応していく力を活かしていきたい。また工夫しながら自分の考えを伝えようとする気持ちを大切にしていきたい。
- 時間管理や異文化交流で得たコミュニケーション能力を生かしたい
- 海外にたくさんいく
- 今回の研修で、特に師範大学附属高級中学との交流で、日本と外国の人の間には、考え方の違いがあるということが分かりました。今後は、相手のことをしっかり理解し、その考え方の違いを現地の人とのコミュニケーションに活かしていきたいと思います。
- 至るところで日本語が通じる親日な台湾ですら、文化や価値観の違いによって驚かされることが多くあった。今回は体調不良で博物館の訪問が出来なかったので、個人的に訪問してみたいと思った。ホテルで待機している間、添乗員の方や先生方、友人から温かい励ましや支援をいただき、とてもありがたかった。この先自分以外の誰かが似たような境遇になっていたら、今度は自分がその人の役に立ちたいと思った。ホテルや飛行機の中で従業員の方に英語が通じて、自分の英語に少し自信が持てた。この経験をこれからの学習のモチベーションにしていきたい。
- 初対面でも積極的に話しかけてくれる台湾の学生の姿勢は真似したいと思った
- 台湾の高校生と交流して自分の英語力のなさを実感したのでその経験を活かして英語の勉強をもっと頑張りたいと思いました。
- 多文化交流をし、多様な視点で物事を考えることができた。もっと積極的に様々な人と交流していきたい
- コミュニケーション力。寄り添う力。
- 初めての海外で、異国の文化や生活に触れることができ、とても楽しかった。飛行機の乗り方なども学ぶことができたので、将来また海外に行くときに役立てたいと思う。
- 文化も言語も違う人と、共通言語を用いて会話を行うこと。
- 海外への旅行の経験を活かし、次に海外に行く機会があれば話したことやプレゼンをしたことを自信に積極的に話しかけていきたい。
- 積極的に自分の好きなことを研究する姿勢を取り入れたいと思った。
- Xpark でお話を伺って海外で働くことの難しさや面白さを知ることができてためになった。また府中の学生さんたちを見てもっと自分の英語力、語学力を高めていきたいと思った。
- 新たな視点を得るために、他の文化圏の人と SNS などを持ちいてたくさん話したい。
- 英語で読む書くだけでなく話せるようになりたいと思いました。また、実際に海外の人と英語で会話することが 1 番英語力を伸ばせそうだったので大学生のうちに絶対に留学しようと思いました。さらに、英語だけでなく様々な国の言語を勉強して人生を豊かにしたいと思いました。
- 海外での働き方を知れて自分も海外での働き方に興味があったので、チャレンジするだけでもやってみたいなと思った。また、自分は意外と初めて会う人とお話しするのが好きなので、この台湾研修でも使ったコミュニケーション能力をこれからも積極的に伸ばせるようにしたい。
- 初めての海外で国を超えたときに常識が変わることの面白さを知った。今回の研修を通して異文化理解や、人と人とのコミュニケーションのスキルも体で感じながら成長することができたと思う。この経験を進路選択にも活かしたいし、日本国内での台湾の活動にも以前より興味を持ち、少しの知識も踏まえながら生活できると思う。
- コミュニケーション能力、もっと台湾について知りたいとも思った

- ・海外での生活の仕方や振る舞い方なども勉強できたので、また海外に行った時にその国の文化や習慣なども理解してそれに反することがないように行動できるようにしたいと思った
- ・めげずに英語に限らず様々な言語でコミュニケーションができるように学び続けていきたい。行く前に過度な心配をしすぎなくても良い、でもたくさん知識を蓄えておけばその分楽しめる。
- ・初めて出会う相手に対して興味を持ち、積極的に関わろうとすることで親密な関係を築くことができるのだとわかったので、どんな相手に対しても学んだことを心がけながら接したいと思った。
- ・今回の交流を通して、中国語についての関心が高まった。需要を理解できたために、言語に対する興味関心が高まった。まずは英語の学習をより固めて、もっと広げた会話ができるようになりたい。